

<注>

各種日のクラス分けについて（細かい区分については別紙参照）

- ①障害を各部に分けた上で、障害部位、障害等級により細分し、それぞれのクラスで男女別・年齢別（シニア40歳以上、成人39～21歳、少年・少女20歳以下）に分けて実施する。
- ②障害が複数あり、それぞれの部門・区分で出場が可能である場合でも、参加できるのは、一つの障害区分のみとするので、複数の部門・区分にまたがつての申し込みは認めない。
- ③申し込み後に部門・区分を変えての参加は認めない。
- ④組手競技第2部については、出場申込みがあっても障害の程度により出場できない場合がある。

(3) 鎌 成
男子・女子 自由参加

7. 競技規定

- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に準拠して行う。
- (2) 形競技個人戦
 - ア. トーナメント方式で1名ずつ行う。
 - イ. 3位決定戦は行わない。
 - ウ. 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
 - エ. 勝敗は審判員が協議して決定する場合もある。
 - オ. 形は自由選択とする。
 - カ. また、各自の身体機能を考慮し、創意工夫により形の内容を適宜改変することを認めめる（必ずしも規定の形どおりでなくともよい）。
 - メ. 初戦から決勝まで同じ形を繰り返し演武できる。
- (3) 組手競技個人戦
 - ア. トーナメント方式で行う。
 - イ. 3位決定戦は行わない。
 - ウ. 競技時間は2分間フルタイムとする。
 - エ. 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた時点又は競技終了時点で、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、審判員5名の旗判定により勝者を決定する。
- (4) 安全具
 - ア. 組手全種目の競技において、全空連検定拳サポーター、同メンホーランドボディプロテクターを着装すること。また、男子選手（車椅子使用者の競技を除く）は、ファウルカップを必ず着装すること。
 - イ. 安全具は各自において用意し、安全具着装のない選手は参加できないので、充分注意すること。
- (5) 服装
 - ア. 監督・コーチ等
 - ①白の空手衣を着用すること。但し、介護者はこの限りでない。
 - ②監督・コーチ・介護者は、IDカードを明示すること（IDカードは、大会当日の監督会議又は選手受付時に交付する）。